

SAP.E_C4HYCP_12.v2023-12-18.q27

試験コード:	E_C4HYCP_12
試験名称:	Certified Product Support Specialist - SAP Commerce Cloud
認定資格:	SAP
無料問題数:	27
バージョン:	v2023-12-18
アクセス数:	271
ページビュー数:	270
https://www.jpnpdf.com/SAP.E_C4HYCP_12.v2023-12-18.q27-mondaishu.html	

最新問題: 1

SAP Commerce プラットフォームのボトルネックを回避するにはどうすればよいですか?

注: この質問には 2 つの正解があります。

- A. props テーブルの定期的なクリーンアップをスケジュールします。
- B. 開発フェーズでコーディングする場合は、遅延読み込みメカニズムの使用を避けてください。
- C. ImpEx によってインポートされる 1 秒あたりの平均アイテム数をチェックして、キャッシュ サイズが十分であることを検証します。
- D. リレーション順序をオフにして、インポートと同期のパフォーマンスを向上させます。

Answer: A,C (メッセージを残す)

最新問題: 2

impex.legacy.mode プロパティを True に設定するとどうなりますか?注: この質問には 2 つの正解があります。

- A. ServiceLayer インターセプターとバリデーターは、インポート/エクスポート プロセス中にトリガーされます。
- B. INSERT、UPDATE、および REMOVE 操作は、インポート中に ModelService によって実行されません。
- C. ServiceLayer インターセプターとバリデーターは、インポート/エクスポート プロセス中にトリガーされません。
- D. INSERT、UPDATE、および REMOVE 操作は、インポート中に ModelService によって実行されます。

Answer: A,B (メッセージを残す)

最新問題: 3

バグ修正はパートナーや顧客にどのように提供されますか?

- A. SAP Commerce は、特定のバグを修正する拡張機能の Hot Fix と呼ばれる小さな jar アーカイブを提供します。
- B. SAP Commerce は、バグ修正を含む拡張機能を提供します。
- C. SAP Commerce では、特定のバグを修正する最適な方法を説明するコード修正が SAP Notes に提供されます。
- D. SAP Commerce は、バグ修正とセキュリティ パッチのみを含むパッチ リリースを提供します。

Answer: C,D ([メッセージを残す](#))

最新問題: 4

EDMX スキーマを使用するにはどのような操作を実行しますか?注: この質問には 3 つの正解があります。

- A. ComplexType と EdmSimpleType を <Association> ... </Association> タグの一部として使用します。
- B. <Association> ... </Association> タグをエンティティ タイプ間の関係の表現として使用します。
- C. EDMX スキーマをダウンロード、変更し、SAP Commerce Backoffice 内で再アップロードして更新します。
- D. odata2webservices を使用して、統合オブジェクトの EDMX スキーマを取得します。
- E. 統合 API が受信リクエストと送信リクエストの両方でサポートするペイロードの構造を定義します。

Answer: B,D,E ([メッセージを残す](#))

最新問題: 5

SAP Commerce Cloud 品目の更新に使用できる ImpEx ヘッダーはどれですか?注: この質問には 2 つの正解があります。

A. INSERT_UPDATE

UserGroup;UID[unique=true];locname[lang=en];locname[lang=de];groups(uid)
[mode=append]

B. INSERT_UPDATE

UserGroup;UID[unique=true];locname[lang=en];locname[lang=de];groups(uid)
[mode=append]

C. UPDATE UserGroup;UID[unique=true];locname;groups(uid)[mode=append]

D. INSERT_UPDATE UserGroup;UID;locname;groups(uid)[mode=append]

Answer: ([解答を表示する](#))

SAP Commerce Cloud アイテムの更新に使用できる ImpEx ヘッダー

は、INSERT_UPDATE

UserGroup;UID[unique=true];locname[lang=en];locname[lang=de];groups(uid)

[mode=append] および UPDATE です。ユーザーグループ;UID[unique=true];locname;グ

ループ(uid)[mode=append]。これらのヘッダーは、既存の項目を変更したり、項目が存在し

ない場合は新しい項目を作成したりできます。INSERT_UPDATE ヘッダーでは、lang 修飾子を使用してローカライズされた属性の言語を指定することもできます。他のヘッダーは、lang 修飾子に不正な構文が使用されているか (B)、一意の属性が指定されていない (D) ため、無効です。

最新問題: 6

SAP Commerce Cloud 品目の更新に使用できる ImpEx ヘッダーはどれですか?注: この質問には 2 つの正解があります。

A. INSERT_UPDATE

UserGroup;UID[unique=true];locname[lang=en];locname[lang=de];groups(uid)
[mode=append]

B. UPDATE UserGroup;UID[unique=true];locname;groups(uid)[mode=append]

C. INSERT_UPDATE UserGroup;UID;locname;groups(uid)[mode=append]

D. INSERT_UPDATE

UserGroup;UID[unique=true];locname[lang=en];locname[lang=de];groups(uid)
[mode=append]

Answer: A,B ([メッセージを残す](#))

最新問題: 7

Backoffice Framework 構成で自動リセットを有効にします。リセットはいつトリガーされますか? 注: この質問には 2 つの正解があります。

A. 次回コンパイル後

B. ログアウト後

C. 次回のサーバー起動時

D. 再ログイン後

Answer: ([解答を表示する](#))

Backoffice Framework 構成の自動リセットでは、ユーザーがログアウトして再度ログインした後、ユーザー設定がデフォルト値にリセットされます。リセットはコンパイルやサーバーの起動によってトリガーされません。

最新問題: 8

カタログ同期の問題をトラブルシューティングする場合、最初にどのファイルを確認しますか? 注: この質問には 3 つの正解があります。

A. localextensions.xml ファイル

B. データベースダンプファイル

C. local.properties ファイル

D. JDBC ログファイル

E. メディア ダンプ ファイルを同期します。

Answer: B,C,E ([メッセージを残す](#))

最新問題: 9

次のケースのうち、サポート インシデントとして扱う必要があるのはどれですか?注: この質問には 2 つの正解があります。

- A. パートナーは、カスタム ソリューションの支援を求めて製品サポートに連絡します。
- B. パートナーは、パフォーマンスが遅いプラットフォームに関して製品サポートに問い合わせます。
- C. パートナーがバックオフィスのカスタマイズ方法に関する情報を要求しました。
- D. パートナーは、プロジェクトのアーキテクチャ面に関する専門的なアドバイスを必要としています。

Answer: B,C (メッセージを残す)

サポート インシデントとして扱う必要があるケースは、パフォーマンスが遅いプラットフォームに関してパートナーが製品サポートに連絡する場合、またはパートナーがバックオフィスのカスタマイズ方法に関する情報を要求する場合です。これらのケースは、SAP Commerce Cloud の標準機能に問題がある可能性があること、またはパートナーが製品機能の使用方法についてのガイダンスを必要としていることを示しています。他のケースは、製品サポートの範囲を超えるカスタム ソリューションまたはアーキテクチャの側面に関係するため、サポート インシデントではありません。

最新問題: 10

SAP Commerce で JDBC ログを有効にするための推奨ツールは何ですか?注: この質問には 3 つの正解があります。

- A. 構成プロパティファイル
- B. インプレッション
- C. Java コード
- D. SAP Commerce 管理コンソール
- E. バックオフィス管理コックピット

Answer: A,C,D (メッセージを残す)

最新問題: 11

Service Layer Direct を使用するにはどのプロパティを設定できますか? 注: この質問には 2 つの正解があります。

- A. core-spring.xml でpersistence.legacy.modeをFalseに設定します。
- B. ImpEx ファイルで sld.enabled 修飾子を True に設定します。
- C. local.properties でpersistence.legacy.modeをFalseに設定します。
- D. local.properties でpersistence.legacy.modeとservicelayer.prefetchをFalse Allに設定します。

Answer: B,D (メッセージを残す)

Service Layer Direct を使用するように設定できるプロパティは、ImpEx ファイルで sld.enabled 修飾子を True に設定し、local.properties でpersistence.legacy.mode と servicelayer.prefetch を False に設定することです。Service Layer Direct は、サービス層が

永続層とより効率的に対話し、使用するリソースを少なくできるようにする機能です。Java コード内で、または ImpEx を呼び出すときに、必要に応じて有効にすることができます。core-spring.xml はこのプロパティに対して有効な構成ファイルではないため、persistence.legacy.mode を False に設定しないでください。参考 2

最新問題: 12

顧客から、SAP Commerce システムが本番環境でクラッシュするというインシデントが報告されました。顧客は次のログを提供します。

このようなことが二度と起こらないようにするには、お客様に何をどのようにアドバイスしますか？

- A. 現在の接続数が十分でない場合は、プール内の接続数を増やします。
- B. カタログを取得する FlexibleSearch クエリを変更して、構文エラーを修正します。
- C. データベースに自動的に再接続するように、JDBC プロパティの自動再接続プロパティを構成します。
- D. カタログ内の関連アイテム間の欠落しているリンクを修正します。

Answer: B ([メッセージを残す](#))

最新問題: 13

SAP Cloud Integration に OAuth2 ユーザー認証情報をデプロイしています。OAuth クライアント データはどこで設定しますか？

- A. SAP Commerce バックオフィス | SAP Cloud Integration Web UI
- B. SAP BTP コックピット | SAP Cloud Integration Web UI
- C. SAP Commerce バックオフィス管理コンソール
- D. SAP BTP コックピット | SAP Commerce バックオフィス

Answer: B ([メッセージを残す](#))

OAuth クライアント データは、SAP BTP コックピットと SAP Cloud Integration Web UI で設定します。SAP BTP コックピットで、xsuaa タイプのサービス インスタンスを作成し、クライアント ID とシークレットを指定します。SAP Cloud Integration Web UI で、OAuth2 認証情報アーティファクトを作成し、認証 URL とトークン サービス URL を指定します。

最新問題: 14

Service Layer Direct を使用する利点は何ですか？ 注: この質問には 3 つの正解があります。

- A. データベースへのデータの読み取りと書き込みが可能になります。
- B. Jalo レイヤーを完全にバイパスして、データベースにデータを永続化します。
- C. グローバル セッションと現在のセッションで機能します。
- D. Jalo 層とサービス層を組み合わせます。
- E. インターセプタをバイパスしてデータベースにデータを永続化します。

Answer: A,B,E ([メッセージを残す](#))

Service Layer Direct を使用する利点は、データベースへのデータの読み取りとデータベースへのデータの書き込み、Jalo レイヤーを完全にバイパスしてデータベースにデータを永続化できること、インターセプタをバイパスしてデータベースにデータを永続化できることです。Service Layer Direct は、サービス層が永続層とより効率的に対話し、使用するリソースを少なくできるようにする機能です。Java コード内で、または ImpEx を呼び出すときに、必要に応じて有効にすることができます。これはグローバル セッションや現在のセッションでは機能せず、Jalo レイヤーとサービス レイヤーを組み合わせることもできません。参考 2

最新問題: 15

システムのパフォーマンスを分析しているときに、スレッド ダンプに次のエントリが表示されます: `ajp-8019- 43" nid=183 state=WAITING - <0x515a41f6> を待機中`
`(org.apache.tomcat.util.net.JioEndpoint$Worker) - <0x515a41f6>`
`(org.apache.tomcat.util.net.JioEndpoint$Worker) で java.lang.Object.wait(Native Method)`
`で java.lang.Object.wait(Object.java :485) でロックされました。`
`apache.tomcat.util.net.JioEndpoint$Worker.await(JioEndpoint.java :471)at`
`org.apache.tomcat.util.net.JioEndpoint$Worker.run(JioEndpoint.java :497)at`
`java.lang.Thread。run(Thread.java:662)ロックされたシンクロナイザー: count = 0` このスレッド ダンプをどう解釈しますか？

- A. スレッドは受信接続を待機しています。
- B. スレッドがブロックされ、ジョブを実行できないため、システムがクラッシュしようとしています。
- C. JVM オプション `maxAJPThreads` が小さすぎるため、同時リクエストを処理できません。
- D. Tomcat AJP パラメータ `maxThreads` が小さすぎるため、同時リクエストを処理できません。

Answer: A ([メッセージを残す](#))

最新問題: 16

SAP Commerce Cloud のコンテキスト駆動型サービスは何をキャプチャしますか?注: この質問には 3 つの正解があります。

- A. データ複製イベント
- B. SAP Commerce から外部サービスへの送信リクエスト
- C. クリックイベント、注文イベント、アドレス帳イベントの更新
- D. ショッピングカート内の数量の更新
- E. すべての顧客とのやり取りと行動

Answer: (解答を表示する)

SAP Commerce Cloud のコンテキスト駆動型サービスは、クリック イベント、注文イベント、アドレス帳イベントの更新、ショッピング カート内の数量の更新、およびすべての顧客の対話と行動をキャプチャします。これらのデータ ポイントは、顧客のコンテキストや好

みに基づいて、パーソナライズされた関連性の高いエクスペリエンスを顧客に提供するために使用されます。

有効な **E_C4HYCP_12** 問題集は GoShiken.com が提供された合格しやすい E_C4HYCP_12 試験問題集！ GoShiken.com が最新の **E_C4HYCP_12** 試験問題集を提供しています。GoShiken.com E_C4HYCP_12 試験問題は最新で、解答が正確でございます。最新の GoShiken.com E_C4HYCP_12 問題集をゲットする人はこちら：
https://www.goshiken.com/SAP/E_C4HYCP_12-mondaishu.html (**4030%OFF**問題集溶と正解付きで **30%w** 特別割引コード: **Freepdfdumps**)

最新問題: 17

SAP Commerce Cloud のコンテキスト駆動型サービスは何をキャプチャしますか?注: この質問には 3 つの正解があります。

- A. ショッピングカート内の数量が更新されます
- B. すべての顧客とのやり取りと行動
- C. SAP Commerce から外部サービスへの送信リクエスト
- D. クリックイベント、注文イベント、アドレス帳イベントの更新
- E. データ複製イベント

Answer: A,B,D (メッセージを残す)

最新問題: 18

既存のサービス (ProductService など) でコードの不具合の回避策を提供する場合、何をする必要がありますか?注: この質問には 3 つの正解があります。

- A. 既存の Bean 定義を新しいサービスで変更します。
- B. 新しいサービスの新しい ID を持つ新しい Bean 定義を追加します。
- C. 既存のサービスを拡張して新しいカスタム サービスを実装します。
- D. 元の Bean 定義の別名をオーバーライドします。
- E. すべてのインジェクションを新しいサービスの新しい ID に置き換えます。

Answer: (解答を表示する)

ProductService などの既存のサービスのコードの不具合の回避策を提供するときに実行する必要がある手順は、新しいサービスの新しい ID を持つ新しい Bean 定義を追加し、既存のサービスを拡張して新しいカスタム サービスを実装することです。元の Bean 定義のエイリアスをオーバーライドします。これらの手順は、ソース コードを変更せずに、既存のサービスのデフォルトの動作をオーバーライドするカスタム サービスを作成するのに役立ちます。新しいサービスで既存の Bean 定義を変更したり、すべての注入を新しいサービスの新しい ID に置き換えたりすることは、これらの手順によってエラーや不一致が発生する可能性があるため、行わないでください。

最新問題: 19

SAP Commerce キャッシュでは、製品タイプの無効化はどのように行われますか?注: この質問には 2 つの正解があります。

- A. インポート中に更新されたキャッシュされた製品アイテムは、接続されているすべての SAP Commerce クラスター ノードで無効になり、次に使用するときデータベースから再ロードされます。
- B. 結果セットが変更されている可能性があるため、製品タイプが含まれるキャッシュされたすべての FlexibleSearch 結果が無効になります。
- C. 結果セットが変更された可能性があるため、キャッシュされたすべての FlexibleSearch 結果はクエリ結果領域から無効になります。
- D. インポート中に更新されたキャッシュされた製品アイテムは、インポートが実行されているノードでのみ無効になります。

Answer: ([解答を表示する](#))

最新問題: 20

ソフトウェアの誤った動作を SAP (第 3 レベルのサポート) に報告する前に何をすべきですか?注: この質問には 2 つの正解があります。

- A. 報告された問題は将来のパッチ リリースで修正される予定であることをお客様に伝えます。
- B. 標準のすぐに使用できる SAP Commerce で問題を再現し、検証します。
- C. インシデントが発生したシステムの完全な技術環境情報を文書化し、SAP に提供します。
- D. 顧客の SAP Commerce インストールで問題をテストします。

Answer: ([解答を表示する](#))

最新問題: 21

顧客がエラーを報告し、ログ ファイルの次のスニペットを提供します。jvm1 | srvmain | 2013/11/15 21:36:38.829 | エラー [ImpExWorker<1/4>] (000000RS-ImpEx-Import) [MultiThreadedImpExImportReader] メイン スクリプトの 11 行目: ワーカー 1 でエラー com.microsoft.sqlserver.jdbc.SQLServerException が発生しました: PRIMARY KEY 制約の違反

PK 3819157796645776366」。オブジェクト dbo.users」に重複キーを挿入できません。重複キーの値は (8796126019588) です。jvm1 | サーバーメイン | 2013/11/15 21:36:38.876 | de.hybris.platform.jalo.JaloSystemException:

com.microsoft.sqlserver.jdbc.SQLServerException: PRIMARY KEY 制約 PK

3819157796645776366」の違反。オブジェクト dbo.users」に重複キーを挿入できません。重複キーの値は (8796126019588) です。[HY--1]エラーの根本原因は何でしょうか? 注: この質問には正解が 2 つあります。

- A. 現在の PK シーケンス値が壊れています。

- B. データベースでは一意のインデックスの代わりに主キーが使用されます。
- C. SAP Commerce はキーが一意ではないことを検証し、例外をレポートします。
- D. データベース エンジンがキーが一意ではないことを検証し、例外を報告します。

Answer: C,D (メッセージを残す)

エラーの根本原因は、データベース エンジンがキーが一意ではないことを検証し、例外を報告することです。これは、users テーブルに重複する主キー値を挿入しようとするとき発生します。SAP Commerce は、キーが一意でないことも検証し、例外を報告します。現在の PK シーケンス値は壊れておらず、一意のインデックスの代わりに主キーが使用されていません。

最新問題: 22

SAP Cloud Integration に OAuth2 ユーザー認証情報をデプロイしています。OAuth クライアント データはどこで設定しますか？

- A. SAP Commerce バックオフィス | SAP Cloud Integration Web UI
- B. SAP BTP コックピット | SAP Cloud Integration Web UI
- C. SAP Commerce バックオフィス管理コンソール
- D. SAP BTP コックピット | SAP Commerce バックオフィス

Answer: D (メッセージを残す)

最新問題: 23

接続プールの問題をトラブルシューティングしています。この問題をどのように調査しますか？注: この質問には 3 つの正解があります。

- A. ヒープダンプを要求します。
- B. 物理的な接続を確認してください。
- C. コンソールのログ ファイルとスレッド ダンプを要求します。
- D. 接続プールに関連する構成パラメータを確認します。
- E. データベースダンプを要求します。

Answer: B,C,D (メッセージを残す)

接続プールの問題を調査するには、物理接続を確認し、コンソール ログ ファイルとスレッド ダンプを要求し、接続プールに関連する構成パラメータを確認します。物理接続は、データベースへの接続の数とステータスを監視するのに役立ちます。コンソール ログ ファイルとスレッド ダンプは、接続プールに関連するエラーや例外を特定するのに役立ちます。構成パラメータは、接続プールのサイズ、タイムアウト、または検証設定を調整するのに役立ちます。ヒープ ダンプやデータベース ダンプは接続プールの問題とは関係がないため、要求する必要はありません。

最新問題: 24

SAP サポート インシデントをエスカレーションするために SAP はどのようなアクティビティを推奨しますか？

- A. 電子メールでインシデント処理者に直接連絡し、インシデントの優先度を上げます。

- B. 非常に高い優先度 (P1) で別のインシデントを作成します。
- C. カスタマー インタラクション センター (CIC) にお問い合わせください。
- D. 顧客の Customer Engagement Executive (CEE) に連絡します。

Answer: ([解答を表示する](#))

SAP サポート インシデントをエスカレーションするための推奨アクティビティは、カスタマー インタラクション センター (CIC) に連絡することです。CIC は 24 時間年中無休で利用でき、既存のインシデント、インシデントのエスカレーション、SAP ONE Support Launchpad のナビゲーション、S ユーザー ID 管理などの問い合わせに対する中央の連絡窓口を提供できます。CIC には、チャット、電話、電子メール、または Twitter で連絡できます。インシデント処理者に電子メールで直接連絡したり、インシデントの優先度を上げたりしないでください。これは効果的または適切ではない可能性があります。混乱や重複が生じる可能性があるため、非常に高い優先度 (P1) を持つ別のインシデントを作成しないでください。顧客の Customer Engagement Executive (CEE) はその役割ではないため、連絡する必要はありません。参考 :2

最新問題: 25

バグ修正はパートナーや顧客にどのように提供されますか？

- A. SAP Commerce は、特定のバグを修正する拡張機能の Hot Fix と呼ばれる小さな jar アーカイブを提供します。
- B. SAP Commerce は、バグ修正を含む拡張機能を提供します。
- C. SAP Commerce では、特定のバグを修正する最適な方法を説明するコード修正が SAP Notes に提供されます。
- D. SAP Commerce は、バグ修正とセキュリティ パッチのみを含むパッチ リリースを提供します。

Answer: ([解答を表示する](#))

SAP Commerce は、バグ修正とセキュリティ パッチのみを含むパッチリリースを通じて、パートナーと顧客にバグ修正を提供します。パッチ リリースは定期的に配信され、機能を変更したり追加のテストを必要としたりすることなく、既存のプラットフォーム バージョンに適用できます。SAP Commerce は、ホットフィックスと呼ばれる小さな jar アーカイブを提供しません。また、バグ修正を含む拡張機能や、バグ修正のためのコード修正を含む SAP ノートも提供しません。参考 :1

最新問題: 26

既存のサービス (ProductService など) でコードの不具合の回避策を提供する場合、何をする必要がありますか?注: この質問には 3 つの正解があります。

- A. 既存のサービスを拡張して新しいカスタム サービスを実装します。
- B. 既存の Bean 定義を新しいサービスで変更します。
- C. 新しいサービスの新しい ID を持つ新しい Bean 定義を追加します。
- D. すべてのインジェクションを新しいサービスの新しい ID に置き換えます。

E. 元の Bean 定義の別名をオーバーライドします。

Answer: ([解答を表示する](#))

最新問題: 27

iFlow を使用する場合、何を設定する必要がありますか?注: この質問には 2 つの正解があります。

A. iFlow 認証タイプを証明書ベースに設定します。

B. AuthGroup.IntegrationDeveloper ロールを SAP Cloud Integration テナントに割り当てます。

C. iFlowの受信者アドレス設定とプロキシタイプ設定を設定します。

D. AuthGroup.IntegrationDeveloper ロールを SAP Commerce ユーザーに割り当てます。

Answer: B,C ([メッセージを残す](#))

Valid E_C4HYCP_12 Dumps shared by GoShiken.com for Helping Passing E_C4HYCP_12 Exam! GoShiken.com now offer the **newest E_C4HYCP_12 exam dumps**, the GoShiken.com E_C4HYCP_12 exam **questions have been updated** and **answers have been corrected** get the **newest** GoShiken.com E_C4HYCP_12 dumps with Test Engine here: https://www.goshiken.com/SAP/E_C4HYCP_12-mondaishu.html (40 Q&As Dumps, **30%OFF** Special Discount: **Freepdfdumps**)